

松山防災文化の育成に向けて

松山防災リーダー育成センター 矢田部龍一

松山防災リーダー育成センターの取り組み

平成30年7月豪雨災害を受けて、令和元年10月にセンター設立
2年半の活動を経て

令和3年度の受賞一覧

- ・ぼうさい甲子園(大賞、UR賞)
- ・防災まちづくり大賞(消防庁長官賞)
- ・ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)(准グランプリ・特別顧問賞)
- ・2022年防災士功劳賞
- ・松山市市民活動推進事業表彰

松山市で取り組んでいる防災教育活動に一応の成果は出ている

次の段階への展開が必要 その一つの方策がマイタイムライン作成講座の全市的展開

防災の取り組みを、防災文化と呼べるレベルへ

防災教育の継続性をいかに担保するか(50年、100年と続く仕組み)

文化とは？

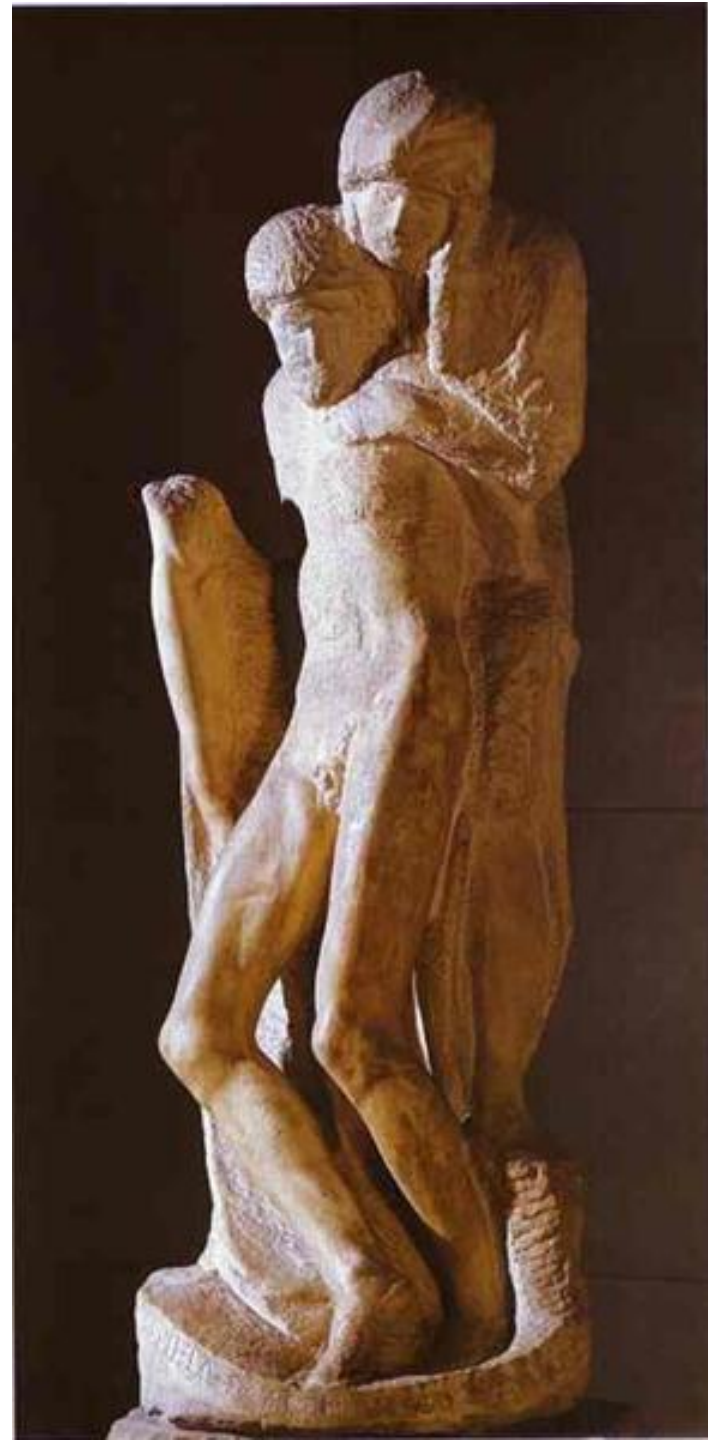
- ・人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果
衣食住をはじめ技術・学問・芸術・道徳・宗教・政治など生活形成の様式と内容を含む(広辞苑)
- ・継続性を有する伝統、風習、価値観など

継続性をどのように持たせるか

人類が誕生して、ずっと継続してきたものは何か？



サンピエトロのピエタ
(1498-1500)



ロンダニーニのピエタ
(1559-1564、遺作)

ルネッサンスの美の巨人 ミケランジェロの創作の原点

永遠の美の追求?? 母親を慕う情

腰が曲がり、目が見えず、手探りで

死の直前まで掘り続けたのは、ロンダニーニのピエタである

(粗削りでゴツゴツしたピエタ、しかし、子供が母親を背負っている)

巨匠の創作意欲の原点は、幼児期に死別した母親への愛情

(母親を背負いたいほどの愛情をピエタで表現している)

親子愛、家族愛は人類が誕生してから20万年の長きにわたって

親から子に、子から孫へと、絶え間なく引き継がれてきた

家族愛は、人類が有する最も根源的な文化の一つである

そこで、防災と家族愛を連結した防災文化の形成を模索してみる

非常時には、自分のことを第一に考えて下さい。
お母さんはいつも私のことを心配してくれている
ので、何か起こったとき、私のことと自分のことで
いっぱいになってしまわないか心配です。
私の人生で、一番辛いことはきくと、お母さんとお
父さんを失うことだと思います。
皆で生き続けるために、一緒に日頃から備えて
おきましょう。

一枚のはがきが母親の、家族の一生の宝物になる

母へ

★ 椿校区は、重信川と石手川の二つの川にはさまれていて、
★ 水害が起きやすい環境です。洪水になると、今いる家の一階
★ の高さまで水が来るらしいです。

★ もし、災害が起きたときは自分の命を優先して、
★ 避難してください。また、もう一度家族と避難場所
★ について話しましょう。
いつもありがとうございます。

希空

松山市内中学生による「防災・命のはがきプロジェクト」

目的

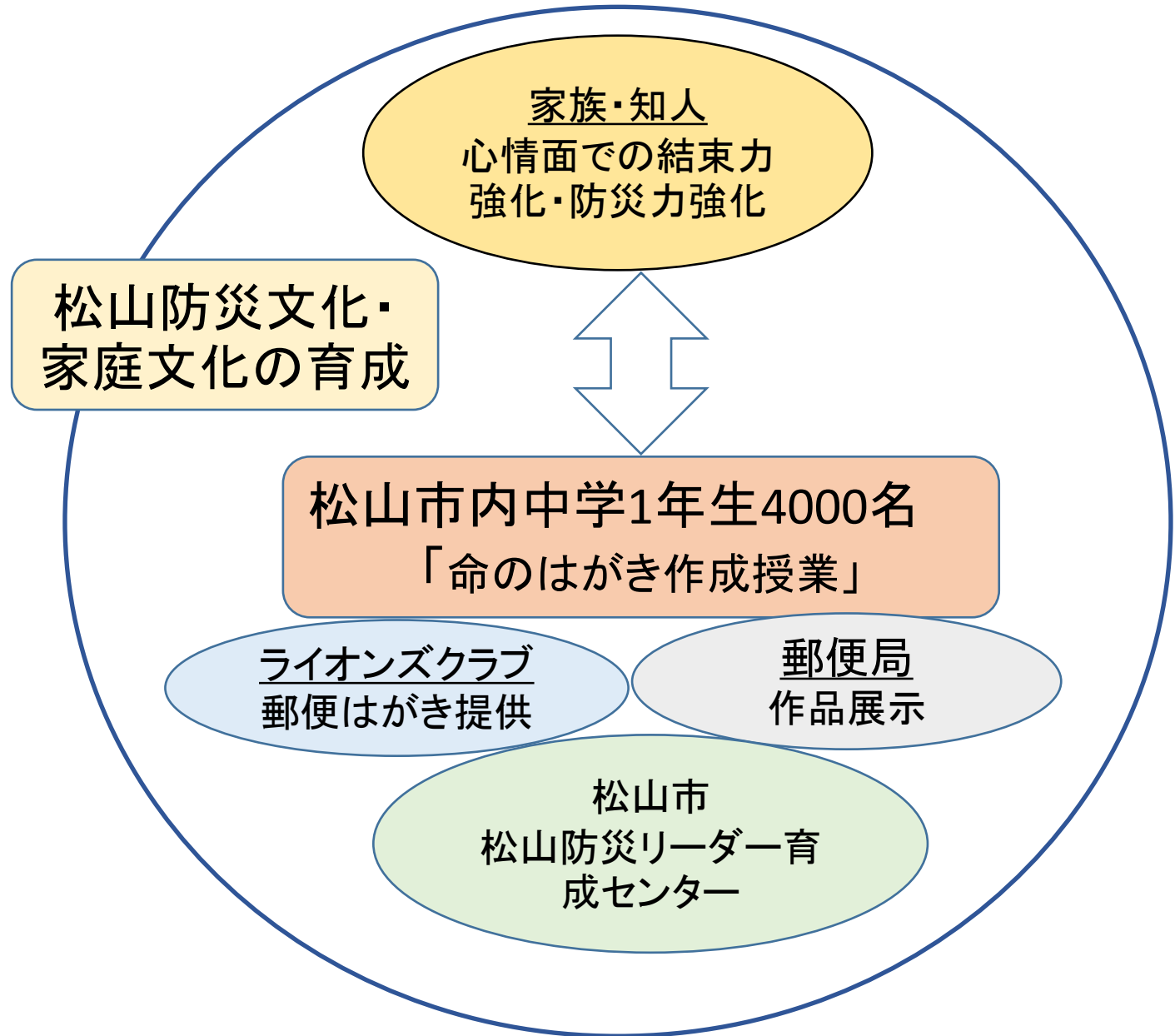
中学生の家族・知人を思う心の醸成
家族や知人とのネットワーク強化
中学生と家族の防災知識・意識の強化
関係組織の連携

活動

中学1年生による「命のはがき」授業
優秀な作品の郵便局展示
優秀な作品の親子発表会

効果

中学生の防災意識と知識の向上
中学生の家族や知人を思いやる心育成
保護者らの防災意識と知識の向上
家族・知人とのネットワーク強化
防災関連組織の連携強化
松山防災文化・家庭文化の育成



松山防災文化の育成

松山市教育委員会
・ライオンズクラブ・松山
特定郵便局長会との連
携プロジェクト

保護者等と繋がる
命のはがきプロジェクト
保護者等1万人対象

松山市内中学1年生4千人対象
松山逃げ遅れゼロプロジェクト
(マイタイムライン作成講座)

防災文化の伝承

地域

家庭

個人

命のはがきを通して家族や親戚、知人らとの関係強化を図る。絆の強化により命を守るとともに家族の結束力を強め、家庭防災文化の醸成を図る

巨大自然災害に備える

巨大自然災害は人口減少と並ぶ国難

・日本人の文化と精神を形づくってきた豊かな自然と自然災害

日本の豊かな自然

アジアモンスーン地域、四季の存在、梅雨前線、秋雨前線、台風、造山帯にあり起伏に富む地形、多様な地質帯、火山帯

多様な自然と豊かな恵みが、世界でも希有な文化を生み出す
(俳句、和歌、花道、茶道、能、歌舞伎、剣道、柔道・・・)

豊かな自然は、恐ろしい自然と背中合わせ(火山、地震、台風、・・・)
(方丈記:大火、飢饉、竜巻、地震)

世界に類を見ない細やかな感情と生きる物へのいたわりの心

日本人は、自然災害にみんなで立ち向かってきた 今こそ力を合わせたい
3.11の犠牲者への弔い、自然災害犠牲者ゼロへの取り組みの強化を！！